

熱中症による救急統計について

全国的に記録的な暑さが続いています。本組合管内において、2025 年 7 月に熱中症により救急搬送された方は、137 人となります。昨年同時期（2024 年 7 月には 80 人を搬送）と比較すると、約 1.7 倍の増加となっています。今後も厳しい暑さが予想されることから、注意喚起を図ることを目的に救急統計をまとめましたのでお知らせします。

※ 4 月から 9 月の熱中症（疑いを含む）による救急搬送事案（2025 年は 4 月から 7 月まで）

※ 小数点を含むものは、小数第二位を四捨五入した数値

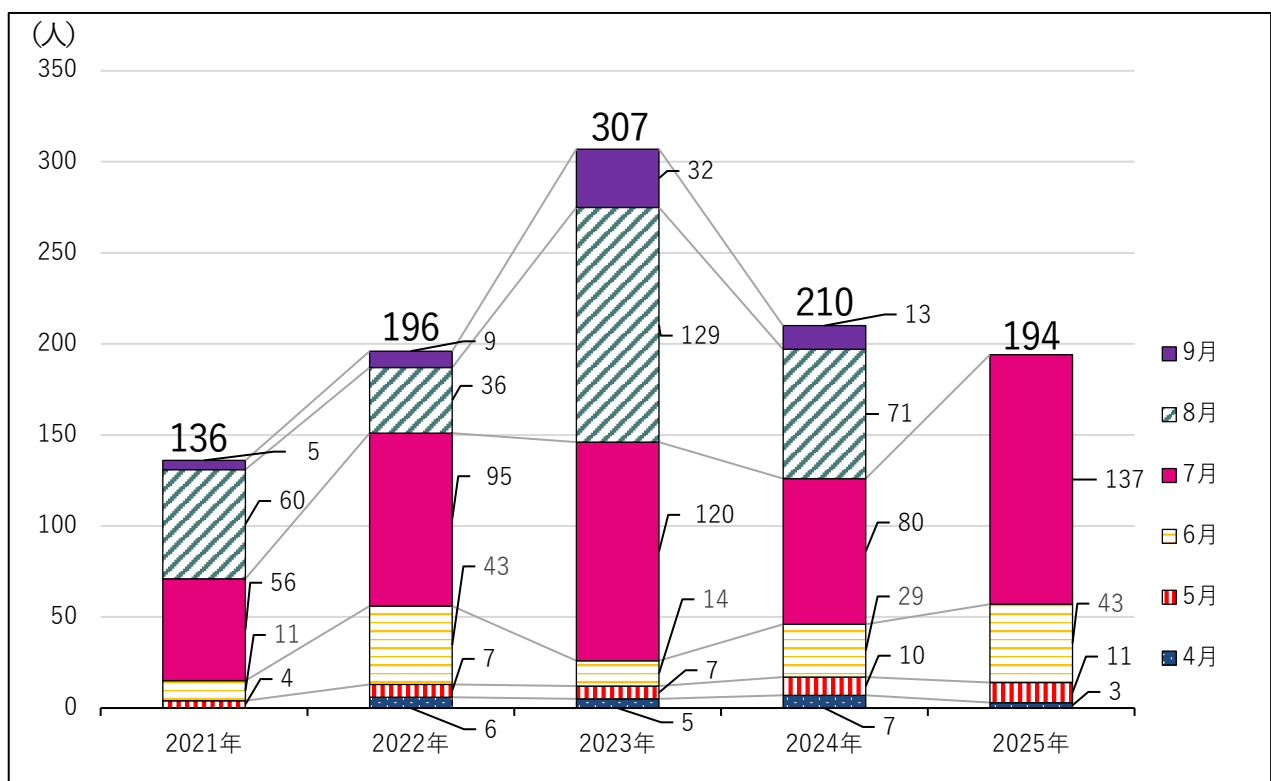
※ WBGT とは環境省から発表される暑さ指数（以下、WBGT）

■ 年別の救急搬送人員

本組合管内では、2021 年から 2025 年 7 月までに熱中症（熱中症疑いを含む）により 1,043 人を救急搬送しています。

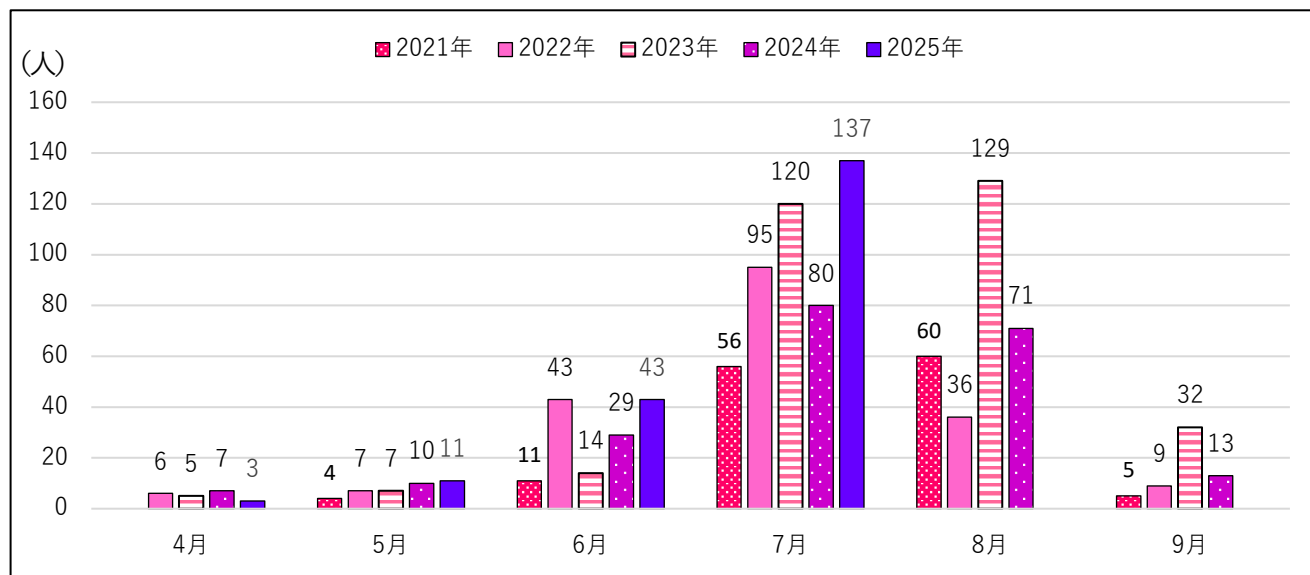
2025 年 6 月及び 7 月の平均気温は、過去 5 年で最も高かったことから救急搬送人員が増加した要因の一つとして考えられます。

*最高気温、平均気温に関するデータ元について気象庁の郡山市のデータをもとに算出



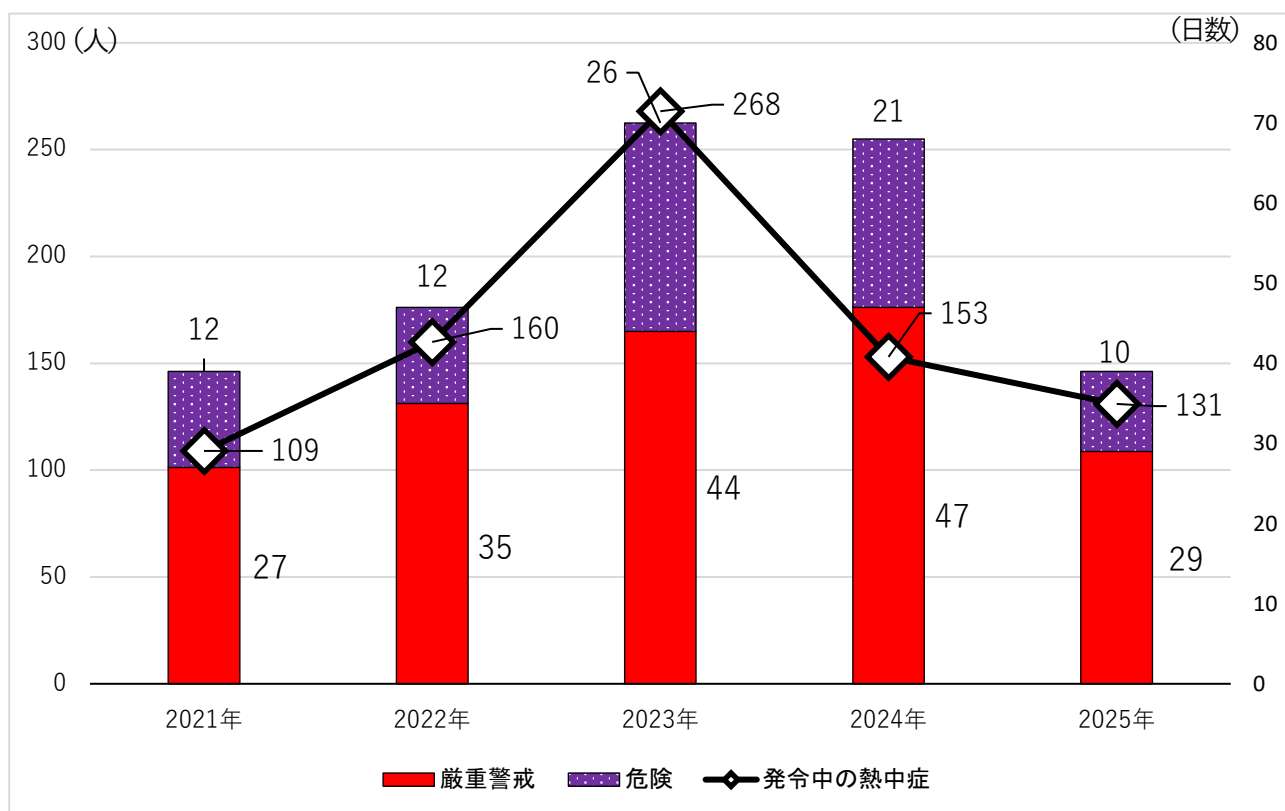
■ 月別の救急搬送人員

2025 年における熱中症による救急搬送人員は、4 月を除き 5 月から 7 月にかけて増加しており、過去最多であった 2023 年の同時期と比較しても、増加傾向が続いています。



■ WBGT と熱中症発生の関係について

WBGT の「危険」、「厳重警戒」が発表された日数と WBGT の発表された日に熱中症となり搬送された人員を比較したところ、WBGT の発表日数が増加するにつれて、熱中症による救急搬送人員も増加する傾向を示していることが確認できます。

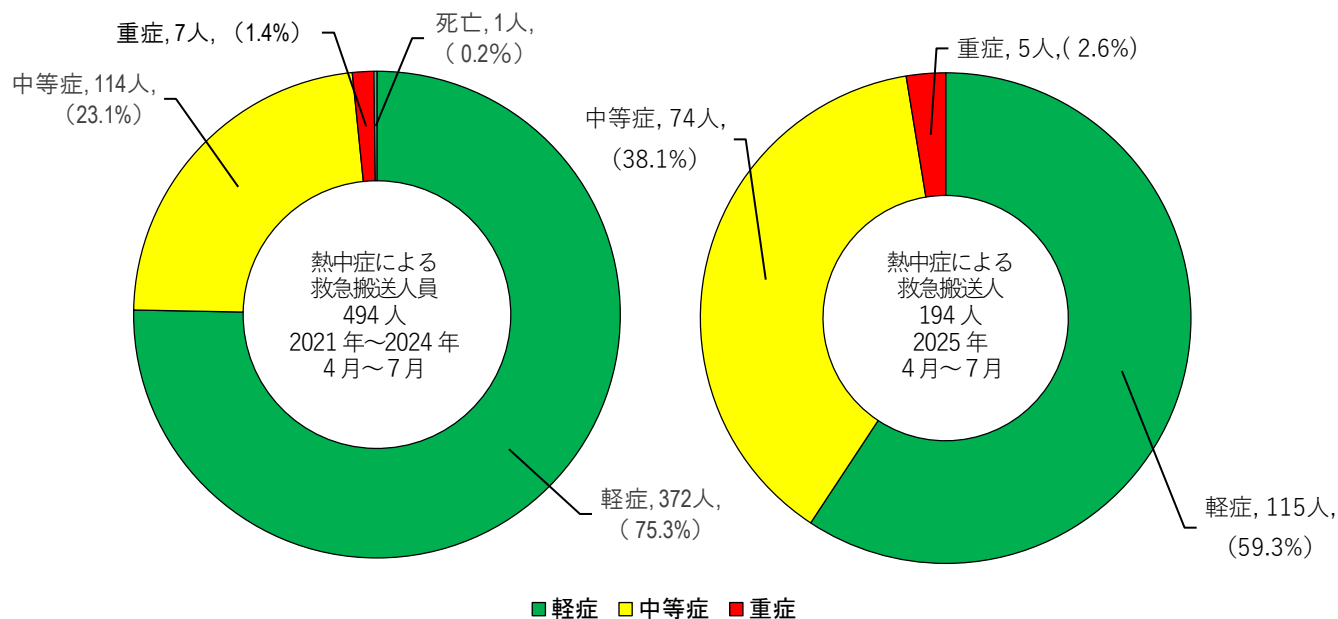


* 対象期間：各年 4 月から 9 月まで

■ 初診時の傷病程度

初診時の傷病程度別にみると、2025 年は軽症が 115 人（59.3%）、中等症が 74 人（38.1%）、重症が 5 人（2.6%）となります。2021 年から 2024 年に搬送された方の合計は 494 人となっており、軽症が 372 人（75.3%）、中等症が 114 人（23.1%）、重症以上が 8 人（1.6%）となります。2025 年は過去 4 年間と比較すると、中等症以上の割合が高くなっている傾向がみられます。

* 対象期間：各年 4 月から 7 月まで



■ WBGT とは

暑さ指数（WBGT（湿球黒球温度）：Wet Bulb Globe Temperature）は、熱中症を予防することを目的として 1954 年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度（℃）で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数（WBGT）は人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい ①湿度、②日射・輻射（ふくしゃ）など周辺の熱環境、③気温の 3 つを取り入れた指標です。

一部引用（環境省：熱中症予防サイト）